



4-124969

Cited Reference in Search Report

Laid-open Patent Application No. 4-124969 laid open on April 24, 1992

Patent Application No. 2-246505 filed on September 17, 1990

Applicant: Fujitsu Ltd.

Inventors: Shigeo Matsunaga

Title: Facsimile Terminal Equipment

Claim:

1. Facsimile terminal equipment provided with:
 - country dial number memory means(32) for storing country codes;
 - country designating means(30) for designating the country of an addressee;
 - domestic dial number input means(31) for inputting the domestic dial number of the addressee;
 - dial input control means(33); and
 - automatic dialing means(34), in which
 - said dial input control means(33) extracts the code of the country designated by said country designating means(30) from said country dial number memory means(32),
 - said dial input control means(33) subsequently prepares the dial number by combining said country code with the domestic dial number entered by said domestic dial number input means(31),
 - the complete dial number is notified from said dial input control means(33) to said automatic dialing means(34), and
 - said automatic dialing means(34) dials using the notified complete dial number of the addressee.

⑩ 日本国特許庁(JP) ⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-124969

⑬ Int.Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑭ 公開 平成4年(1992)4月24日H 04 N 1/32
H 04 M 1/27
11/00F
2109-5C
7190-5K
7117-5K

審査請求 未請求 請求項の枚数 1 (全1頁)

⑮ 発明の名称 フラクシミリ装置

⑯ 特 願 平2-246505

⑰ 出 願 平2(1990)9月17日

⑱ 発 明 者 松 永 重 男 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

⑲ 出 願 人 富士通株式会社

⑳ 代 理 人 井理士 井所 貞一

明 細 書

1. 発明の名称

フラクシミリ装置

3. 発明の詳細な説明

(概 要)

本発明はフラクシミリ装置に関し、
海外フラクシミリ通信におけるフルダイヤル装
作を簡易化することを目的とし、

2. 特許請求の範囲

図別のダイヤル番号を記憶する図別ダイヤル番号記憶手段(32)と、相手先図別を指定する図別指定手段(30)と、相手先図内のダイヤル番号を入力する図内ダイヤル番号入力手段(31)と、ダイヤル入力制御手段(33)と、自動ダイヤル手段(34)とを有し、
該ダイヤル入力制御手段(33)は、図別指定手段(30)で指定された図別のダイヤル番号を該図別ダイヤル番号記憶手段(32)から抽出し、該図内ダイヤル番号入力手段(31)から入力された図内ダイヤル番号とともにフルダイヤル番号に組み立てて自動ダイヤル手段(34)に通知し、該自動ダイヤル手段(34)は、通知されたフルダイヤル番号に基づき相手先にダイヤルすることとを特徴とするフラクシミリ装置。

(産業上の利用分野)

本発明はフラクシミリ装置の改良に関する。
近年、フラクシミリの普及はめざましく、海外とのフラクシミリ通信も急激な勢いで増加している。

本発明は、海外とのフラクシミリ通信において、相手先フルダイヤル番号の指定方法の改善に関するものである。

(従来の技術及び発明が解決しようとする課題)
従来、海外とのフラクシミリ通信における相手先ダイヤル番号の指定は、予め登録した組組ダイヤル、あるいはワンタッチダイヤルを用いて行うことが多いが、通信回線の少ない相手先に対しては、フルダイヤル番号、即ち、(図別ダイヤル番号+相手先図内ダイヤル番号)をその都度入力するのが一般的である。

しかし、組組ダイヤルを用いる方法は記憶回線がいちあり、またはワンタッチダイヤルを用いる方は押下回線がいちあり、いずれも誤配線を起こ

す可能性がある。

このため、電文が誤配線されると多大の損害を受けるような相手先には、意図的にフルダイヤル番号で指定させることが多い。

このフルダイヤル番号を用いる場合には、予め相手先の図別のダイヤル番号と相手先の図内番号とを調べて置く必要があるが、相手先の図内ダイヤル番号は相手先の名称等で容易に分かって、図別ダイヤル番号は名称に記入されていない場合が多く、図別ダイヤル番号を調べのに多大の時間と労力を要するといえる問題がある。

本発明は、上記問題に鑑み、図別ダイヤル番号を容易に指定できるフラクシミリ装置を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

第1図本発明の装置図において、
32は図別ダイヤル番号記憶手段で、図別のダイヤル番号を記憶するもの、
30は図別指定手段で、相手先図別を指定するも

先にダイヤルされるので、フルダイヤル時の操作性が改善される。

(実施例)

本発明の実施例を図を用いて詳細に説明する。
第2図は一実施例の構成図、第3図は一実施例の操作部を示す図、第4図は操作部を示す図である。

第2図は本発明を適用したフラクシミリ装置の構成図を示すものである。図中、

1は装置制御部(ダイヤル入力制御手段33に対応する)で、装置各部を制御してフラクシミリ通信を行うとともに、ダイヤル番号の入力制御を行う。

2は操作部で、第3図に示すように、操作案内表示等を行う表示部21、ダイヤルキーパッド22(テンキー)、図内ダイヤル番号入力手段31に対応(図内ダイヤルキー25(図別指定手段30に対応))、操作の中止等を行うストップキー22、スタートキー23等を備える。

7は自動ダイヤル部(自動ダイヤル手段34に対応する)で、装置制御部1より通知されたダイヤル番号に基づき、NCU部8を介し、相手先にダイヤルする。

10は個別ダイヤル番号記憶部(個別ダイヤル記憶手段32に対応)で、不揮発性のメモリで構成され、予め、個別ダイヤル番号が登録されている。

その他、本ファクシミリ装置は、原稿を読取る読取部3、読取った画データを圧縮する圧縮部4、受信した画データを復元する復元部6、画データを記録出力する記録部5、画像を転送するNCU部(ファクシミリ通信制御部)を行う通信制御部9等より構成される。

なお、個別ダイヤル番号の登録は、予め装置として登録しておいてもよく、またワンタッチダイヤルの登録と同様の方法で利用者が登録してもよい。

第3図は操作部2における操作画面の要部を示したものである。

個別を指定する個別入力キー25は、個別に対応

する複数のキーより構成され、キートップには図名が印刷されるか、または登録時の図名に応じてラベル等が貼付される。

ダイヤルキートップ24は、図内を含む相手先図内のダイヤル番号入力に使用される他、ファクシミリ通信に必要な各種入力に使用される。また、図外の相手先にフルダイヤル番号を入力する場合は、このダイヤルキートップ24より、フルダイヤル番号、即ち、相手先個別ダイヤル番号、相手先図内ダイヤル番号の順で入力する。

以上構成のファクシミリ装置において、以下に示す操作ならびに制御によって、海外にダイヤルされる。

なお、操作手順は、第4図に示すように、表示部21による操作案内表示に基づいて行われ、また、データの流れは第2図①-④に示している。

(操作1) 原稿をセットする。

これにより装置制御部1は、初期画面として、日時、時刻等とともにダイヤル番号の入力案内を表示する。

(操作2) 個別入力キー25のうち、例えば「米」キーを押下する。(第2図①)

これにより、装置制御部1は海外へのダイヤルと認識し、個別ダイヤル番号記憶部10より「米国」キーに対応する個別ダイヤル番号「001-1」を抽出し(第2図②)、図示省略したメモリに一時保持するとともに、第4図に示すように「米国-001-1」のごとく表示する。

(操作3) 続いて相手先図内のダイヤル番号、例えば「203-796-5665」をダイヤルキートップ24により入力する。

これにより、装置制御部1は、一時保持した個別ダイヤル番号「001-1」と、入力された相手先図内ダイヤル番号「203-796-5665」とによってフルダイヤル番号「001-1-203-796-5665」に編集する。

(操作4) スタートキー23を押下する。これにより、装置制御部1は編集したフルダイヤル番号「001-1-203-796-5665」を自動ダイヤル部7に通知し、自動ダイヤル部7はNCU部8を介して相手先にダイヤルする。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の装置図、第2図は一実施例の構成図、第3図は一実施例の操作部を要す図、第4図は操作例を要す図である。

図中、1は装置制御部、2は操作部、3は読取

部、4は圧縮部、5は記録部、6は復元部、7は自動ダイヤル部、8はNCU部、9は通信制御部、10は個別ダイヤル番号記憶部、21は表示部、22はストップキー、23はスタートキー、24はダイヤルキートップ、25は個別入力キー、30は図内指定手段、31は図内ダイヤル番号入力手段、32は個別ダイヤル番号記憶手段、33はダイヤル入力制御手段、34は自動ダイヤル手段である。

代理人 井野士

井野士 井野士

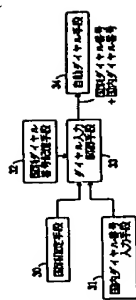


図1 図

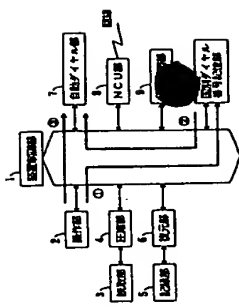


図2 図

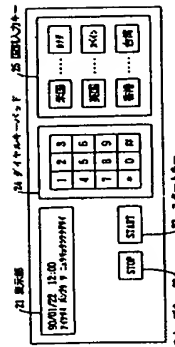


図3 図

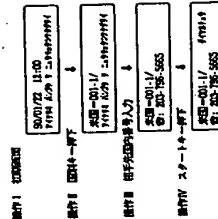


図4 図

⑫ 公開特許公報(A)

平4-124969

⑤ Int. Cl.⁵H 04 N 1/32
H 04 M 1/27
11/00

識別記号

3 0 2

庁内整理番号

F 2109-5C
7190-5K
7117-5K

⑬ 公開 平成4年(1992)4月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 ファクシミリ装置

⑯ 特 願 平2-246505

⑰ 出 願 平2(1990)9月17日

⑱ 発 明 者 松 永 重 男 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑲ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑳ 代 理 人 弁理士 井 桁 貞一

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

国別のダイヤル番号を記憶する国別ダイヤル番号記憶手段(32)と、相手先国別を指定する国別指定手段(30)と、相手先国内のダイヤル番号を入力する国内ダイヤル番号入力手段(31)と、ダイヤル入力制御手段(33)と、自動ダイヤル手段(34)とを有し、

該ダイヤル入力制御手段(33)は、国別指定手段(30)で指定された国別のダイヤル番号を該国別ダイヤル番号記憶手段(32)から抽出し、続いて該国内ダイヤル番号入力手段(31)から入力された国内ダイヤル番号とともにフルダイヤル番号に編集して該自動ダイヤル手段(34)に通知し、

該自動ダイヤル手段(34)は、通知された該フルダイヤル番号に基づき相手先にダイヤルすることとを特徴とするファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

〔概 要〕

本発明はファクシミリ装置に関し、

海外ファクシミリ通信におけるフルダイヤル操作を簡易化することを目的とし、

国別のダイヤル番号を記憶する国別ダイヤル番号記憶手段と、相手先国別を指定する国別指定手段と、相手先国内のダイヤル番号を入力する国内ダイヤル番号入力手段と、ダイヤル入力制御手段と、自動ダイヤル手段とを有し、該ダイヤル入力制御手段は、国別指定手段で指定された国別のダイヤル番号を該国別ダイヤル番号記憶手段から抽出し、続いて該国内ダイヤル番号入力手段から入力された国内ダイヤル番号とともにフルダイヤル番号に編集して該自動ダイヤル手段に通知し、該自動ダイヤル手段は、通知された該フルダイヤル番号に基づき相手先にダイヤルするように構成する。

〔産業上の利用分野〕

本発明はファクシミリ装置の改良に関する。

近年、ファクシミリの普及はめざましく、海外とのファクシミリ通信も急激な勢いで増加している。

本発明は、海外とのファクシミリ通信において、相手先ダイヤル番号の指定方法の改善に関するものである。

〔従来の技術及び発明が解決しようとする課題〕

従来、海外とのファクシミリ通信における相手先ダイヤル番号の指定は、予め登録した短縮ダイヤル、あるいはワンタッチダイヤルを用いて行うことが多いが、通信回数の少ない相手先に対しては、フルダイヤル番号、即ち、(国別ダイヤル番号+相手先国内ダイヤル番号)をその都度入力するのが一般的である。

しかし、短縮ダイヤルを用いる方法は記憶間違いがあり、またはワンタッチダイヤルを用いる方法は押下間違いがあって、いずれも誤配信を起こ

の、

31は国内ダイヤル番号入力手段で、相手先国内のダイヤル番号を入力するもの、

33はダイヤル入力制御手段(33)、

34は自動ダイヤル手段である。

〔作用〕

予め、国別ダイヤル番号を国別ダイヤル番号記憶手段32に記憶させておく。

ダイヤル入力制御手段33は、国別指定手段30で指定された国別のダイヤル番号を国別ダイヤル番号記憶手段32から抽出し、続いて国内ダイヤル番号入力手段31から入力された国内ダイヤル番号とともにフルダイヤル番号に編集して自動ダイヤル手段34に通知する。

これにより、自動ダイヤル手段34は、通知されたフルダイヤル番号を使用して相手先にダイヤルする。

以上のごとく、国別指定手段30で国別を指定した後国内ダイヤル番号を入力すれば、海外の相手

す可能性がある。

このため、電文が誤配信されると多大の損害を被るような相手先には、意図的にフルダイヤル番号で指定させることが多い。

このフルダイヤル番号を用いる場合には、予め相手先の国別のダイヤル番号と相手先の国内番号とを調べて置く必要があるが、相手先の国内ダイヤル番号は相手先の名刺等で容易に分かって、国別ダイヤル番号は名刺に記入されていない場合が多く、国別ダイヤル番号を調べるのに多大の時間を要するという課題がある。

本発明は、上記課題に鑑み、国別ダイヤル番号を容易に指定できるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

第1図本発明の原理図において、

32は国別ダイヤル番号記憶手段で、国別のダイヤル番号を記憶するもの、

30は国別指定手段で、相手先国別を指定するも

先にダイヤルされるので、フルダイヤル時の操作性が改善される。

〔実施例〕

本発明の実施例を図を用いて詳細に説明する。

第2図は一実施例の構成図、第3図は一実施例の操作部を表す図、第4図は操作例を表す図である。

第2図は本発明を適用したファクシミリ装置の構成例を示すものである。図中、

1は装置制御部(ダイヤル入力制御手段33に対応)で、装置各部を制御してファクシミリ通信を行うとともに、ダイヤル番号の入力制御を行う。

2は操作部で、第3図に示すように、操作案内表示等を行う表示部21、ダイヤルキーパッド24(テンキー、国内ダイヤル番号入力手段31に対応)、国別入力キー25(国別指定手段30に対応)、操作の中止等を行うストップキー22、スタートキー23等を備える。

7 は自動ダイヤル部（自動ダイヤル手段34に対応する）で、装置制御部1より通知されたダイヤル番号に基づき、NCU部8を介し、相手先にダイヤルする。

10は国別ダイヤル番号記憶部（国別ダイヤル記憶手段32に対応）で、不揮発性のメモリで構成され、予め、国別ダイヤル番号が登録されている。

その他、本ファクシミリ装置は、原稿を読取る読取部3、読取った画データを圧縮する圧縮部4、受信した画データを復元する復元部6、画データを記録出力する記録部5、回線を制御するNCU部（網制御部）8、ファクシミリ通信制御を行う通信制御部9等より構成される。

なお、国別ダイヤル番号の登録は、予め装置として登録しておいてもよく、またワンタッチダイヤルの登録と同様の方法で利用者が登録してもよい。

第3図は操作部2における操作面の要部を示したものである。

国別を指定する国別入力キー25は、国別に対応

する複数のキーより構成され、キートップには国名が刻印されるか、または登録時の国名に応じてラベル等が貼付される。

ダイヤルキーパッド24は、自国内を含む相手先国内のダイヤル番号入力に使用される他、ファクシミリ通信に必要な操作入力に使用される。また国外の相手先にフルダイヤル番号を入力する場合は、このダイヤルキーパッド24より、フルダイヤル番号、即ち、相手先国別ダイヤル番号、相手先国内ダイヤル番号の順で入力する。

以上構成のファクシミリ装置において、以下に示す操作ならびに制御によって、海外にダイヤルされる。

なお、操作手順は、第4図に示すように、表示部21による操作案内表示に従って行われ、また、データの流れは第2図①～③に示している。

（操作Ⅰ） 原稿をセットする。

これにより装置制御部1は、初期画面として、日時、時刻等とともにダイヤル番号の入力案内を表示する。

（操作Ⅱ） 国別入力キー25のうち、例えば「米国」キーを押下する。（第2図①）

これにより、装置制御部1は海外へのダイヤルと認識し、国別ダイヤル番号記憶部10より「米国」キーに対応する国別ダイヤル番号「001-1」を抽出し（第2図②）、図示省略したメモリに一時保持するとともに、第4図に示すように「米国=001-1」のごとく表示する。

（操作Ⅲ） 続いて相手先国内のダイヤル番号、例えば「203-796-5665」をダイヤルキーパッド24により入力する。

これにより、装置制御部1は、一時保持した国別ダイヤル番号「001-1」と、入力された相手先国内ダイヤル番号「203-796-5665」とによってフルダイヤル「001-1-203-796-5665」に編集する。

（操作Ⅳ） スタートキー23を押下する。

これにより、装置制御部1は編集したフルダイヤル番号「001-1-203-796-5665」を自動ダイヤル部7に通知し、自動ダイヤル部7はNCU部8を介して相手先にダイヤルする。

以上のごとく、フルダイヤルで海外通信を行うとき、国別入力キー25により国別を指定し、続いて相手先国内ダイヤル番号をダイヤルキーパッド24より入力することにより、海外の相手先にダイヤルされる。

（発明の効果）

以上説明したように、本発明は、国別のダイヤル番号を予め記憶しておき、海外ダイヤル時は、国別入力キー押下後、相手先の国内ダイヤル番号を指定するようにしたファクシミリ装置を提供するもので、フルダイヤルによる海外通信でも、簡単にダイヤルすることが可能となり、操作性が改善される。

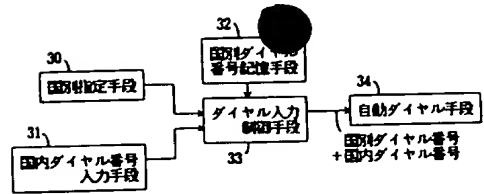
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理図、第2図は一実施例の構成図、第3図は一実施例の操作部を表す図、第4図は操作例を表す図である。

図中、1は装置制御部、2は操作部、3は読取

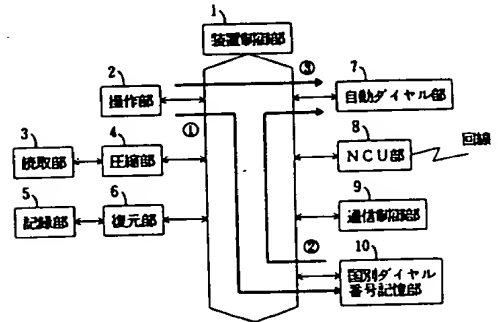
部、4 は圧縮部、5 は記録部、6 は検索部、7 は自動ダイヤル部、8 はNCU部、9 は通信制御部、10は国別ダイヤル番号記憶部、21は表示部、22はストップキー、23はスタートキー、24はダイヤルキーパッド、25は国別入力キー、30は国別指定手段、31は国内ダイヤル番号入力手段、32は国別ダイヤル番号記憶手段、33はダイヤル入力制御手段、34は自動ダイヤル手段である。

代理人 弁理士 井桁 貞一



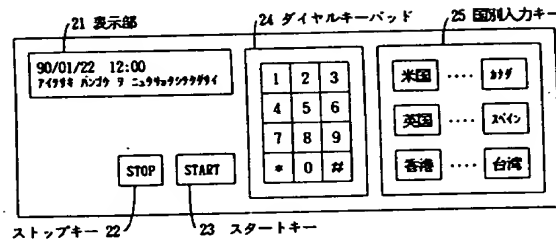
本発明の原理図

第 1 図



一実施例の構成図

第 2 図



一実施例の操作部を表す図

第 3 図

操作 I 初期画面

90/01/22 12:00
74994 8039 7 2037965665

操作 II 国別キー押下

米国=001-1/
74994 8039 7 2037965665

操作 III 相手先国内番号入力

米国=001-1/
番: 203-796-5665

操作 IV スタートキー押下

米国=001-1/
番: 203-796-5665

操作例を表す図

第 4 図